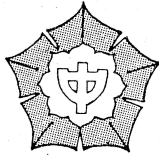


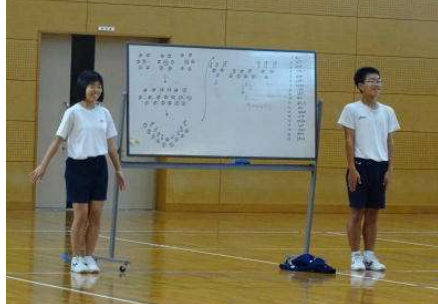
新 潮



校訓
郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

リズムダンス 練習頑張っています。



実行委員の小山政也君と大浦心菜さん。リーダーとして、みんなから信頼されています。

ちよっと堅苦しいですが、本校がリズムダンスに取り組む目的をもう一度確認しておきます。
☆大会趣旨

文部科学省の学習指導要領において必須となったダンスの単元の「現代的なリズムのダンス」を学級単位で発表する機会を提供するものです。本大会の目的は、リズムダンスを通じ小・中学生の豊かな人間性の育成や体力の向上を目的とし、また生徒が全国大会という目標を掲げることで、より学習に興味をもつよう促し、教育の一環として貢献することを目指しています。

更にリズムダンスの学習過程において、学級の仲間との結びつきを強め、学校教育を活性化させる事を目的としています。ダンスが得意な生徒だけが出場するのではなく、一般生徒が学級(学校)単位で参加することによって、クラス(学校)が丸となり協力しあうことができるのがこの大会の特徴です。いじめ問題が生じない、生徒間の絆が深まる活動の一つとなり、学校生活が豊かになることができるコンクールを目指します。

部活動とは違い、クラスや学校単位で参加するところが特徴です。そこに大きな意味もあると思います。本校の練習の中では実行委員を中心に教え合っている光景がいつも見られます。ダンスをみんなと合わせるといことは、仲間のことを感じる、思いやるということですね。そこから、友情や信頼は深まっていきます。

また、ある本に『非認知能力』が人生の成功において極めて重要である。とあります。「非認知能力」とは、自分に対する自信・やる気・忍耐強

さ・自制心・社会性・対応能力・創造性・協調性を意味します。リズムダンスの取組はまさにこの「非認知能力」を育てる取組だと考えています。子どもたちは今、何物にも代えがたい貴重な体験をしているなあと感じます。輝いている彼らがちよっとうらやましくなる時もあるくらいです。出発まであと2週間ほど。悔いが残らないように頑張ってください。

お詫びとお知らせです。保護者会では交通手段について往復飛行機利用で承諾を得たところでしたが、旅行会社より「帰りの飛行機が取れない」と連絡がありました。そこで、帰りの東京→博多間は新幹線(約5時間)になりました。また、保護者の引率は小山浩美さん・大浦あゆみさんにしていただくこととなっています。

収穫の秋です！



今年には学校の畑で立派なさつま芋が育ちました。用務員の岩井さんと吉永先生が収穫してください、18日にはふかし芋、24日には焼き芋になりました。ふかし芋焼いたり一手に引き受けてくださった岩井さん、どうもありがとうございます。子どもたちが収穫したり、たき火を作って芋を焼いたりできれば楽しくもあり、いい体験にもなるのでしようが、残念ながら時間の余裕がありません。準備して下さった方に感謝しながらおいしくいただきました。

